

1	審議会名	上田市博物館協議会
2	日時	平成27年5月15日 午前10時から正午まで
3	会場	上田市立信濃国分寺資料館 講堂
4	出席者	小宮山千佐委員、神戸弘子委員、児玉卓文委員、森重俊幸委員、堀内泰委員、 宮澤かほる委員、倉嶋勝夫委員、手塚若子委員、島田洋子委員
5	市側出席者	倉澤博物館長、山崎補佐、尾見資料館長
6	公開・非公開等の別	公開・一部公開・非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成27年5月17日

協議事項等

- 1 開 会 (尾見資料館長)
 - 2 あいさつ (倉澤博物館長)
 - 3 博物館協議会の活動について (倉澤博物館長)
 - 4 協議事項
 - (1) 議題の概要
 - 自己紹介
 - 会長及び会長代理選任
 - H27年度事業計画について
 - その他
 - (2) 審議概要
 - 自己紹介
 - 会長及び会長代理の選任
 - 全員一致で会長に堀内泰委員、会長代理に倉嶋勝夫委員に決定。
 - H27年度事業計画について
 - (事務局) 市立博物館、丸子郷土博物館、信濃国分寺資料館の順で説明。
- 博物館全般に係る事項
- (委員) ・ことぶき大学やシニア大学に呼びかけて、学校の行事として、共催などにより博物館等の案内や解説を実施して博物館利用の促進を図れないか。
 - ・小学校、中学校などと連携して、子ども目線で、どのような展示が良いのか、ともに考えることができないか。
 - ・今の展示で、歴史を、展示品を理解してもらえるのか疑問。
 - ・もっと、関心をもってもらえる展示が必要。
 - ・博物館の展示は、キャプションのみでは難しい。説明してくれる人が必要。
 - ・展示物は人による説明がないとわかりづらい部分がある。入館者に声をかけるなどの方法もある。
 - ・博物館の展示は表現が難しい。子ども向けコーナーと大人向けコーナーに分けてもよいのではないか。
 - ・展示のポイントを立て札などで表示したらどうか。展示ガラスの外での表示を考えて欲しい。
 - ・市民目線とずれない企画展の内容を考えてもらいたい
 - (委員) ・企画展で、アンケートをとっているのか。
 - (事務局) ・とっていません。
 - (委員) ・一度、アンケートをとってはどうか。

(委員) ・協議会について、来館者の増加・展示などのチームをつくって、提言をまとめてはどうか。

(事務局) ・今後の協議会の進め方に係る問題なので、どのような方法がよいのか検討します。

丸子郷土博物館に係る事項

(委員) ・丸子郷土資料館の入館者が少ないが、何とかならないか。

(事務局) ・企画展があると入館者は増えるのは確かである。しかし、現段階では、企画展等の予定はない。今後、考えていきたい。

(委員) ・丸子郷土博物館などは、地域の博物館として、地域の学校の生徒に展示を考えてもらうのはどうか。

・3月に実施した小企画展での鳥羽山洞窟の柿経の展示は、博物館に埋もれていた遺物が日の目を見ることとなった。よかった。

・丸子郷土博物館はパートのみで、説明を聞いても、よくわからない。

・丸子郷土博物館は辺鄙な場所にあるが、そこにあることに意義があるような活用のし方を考えてもらいたい。

市立博物館に係る事項

(委員) ・市立博物館の受付が、オープンカウンターとなったのは良いことだ。

(委員) ・博物館別館となる旧山本鼎記念館の改修について、どのような内容か。

(事務局) ・空調設備や壁の塗り替えや補修等を行う。2階は展示室、1階は休憩室と資料や冊子の閲覧室を考えている。

(委員) ・トイレはどうか。

(事務局) ・旧山本鼎記念館と博物館の間に新しいトイレを建設する予定です。

信濃国分寺資料館に係る事項

(委員) ・史跡信濃国分寺を巡る説明会などを開催するのはどうか。

・史跡信濃国分寺を巡る場合、ハープ橋などの付近の景観を合わせて案内するとよいのではないか。

(委員) ・企画展「食器と人々の暮らし」では、土器などにかぎらず、米食や粉食などの食事の内容・塩田城出土のハシなどの解説や展示はどうか。

(事務局) ・提案のあったことを考慮に入れて企画展の準備を進めていきたいと思います。

5 閉 会 (倉澤博物館長)

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。